JLCC 授業シラバス

講義コード	ISP（Independent Study Project）
講義科目名	自主研究
開講年度	2025-2026
開講学期	春学期
曜日時限	火２・水３
必修選択	必修
単位数	２単位
担当教員	郭 俊海
使用言語	日本語
教室	センター5 号館　5701
授業概要・目標	この授業は文献講読と社会調査に分かれ、隔週（2 週間に 1 回）行われる。文献講読または社会調査を通じて、レポート作成の方法を学び、総合的な読解力や文書作成力を高め、研究論文執筆に必要な基礎知識を身につける。学期末には 5〜6 頁程度のレポートを提出する。
授業形態	文献講読では、各自が日本に関する（政治、経済、文化など）単行本を一冊選び読み通し、その内容をまとめて、2週間に1回読書報告シートを提出（全6回）し、報告をもとにクラスで発表する。社会調査では、各自が興味のあるテーマを選び、そのテーマに関する文献研究や社会調査（インタビュー調査、質問紙調査など）を行う。進捗状況を報告シートにまとめ、2週間に1回提出し、報告をもとにクラスで発表する。
履修に関わる注意事項	1. 必ず予習をしてくること。 2. 宿題は必ず提出期限までに提出すること。 3. できるだけ欠席や遅刻をしないようにすること（やむを得ない場合の欠席や遅刻は必ず連絡すること）。
授業計画（予定）	1. 全体オリエンテーション 2. 計画発表 3. 個人指導① 4. 個人指導② 5. 中間報告発表 6. 個人指導③ 7. 個人指導④ 8. 結果発表 ※詳しい予定表は全体オリエンテーション時に配布する
テキスト	タスクシート（全６回）を使用する。
成績評価	1. タスクシート 42% 2. 発表 18% 3. 平常点10% 4. レポート30%
その他 （自由記述欄）	

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL203
講義科目名	日本語・日本文化概論 B
開講年度	2025-2026
開講学期	春学期
曜日時限	金曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	２単位
担当教員	郭 俊海
使用言語	日本語
教室	センター5 号館　5701
授業概要・目標	日本の歴史（奈良時代から江戸時代まで）を概観し、各時代の主な歴史人物、出来事、政治の変遷、対外政策、建築や美術品などに関する知識を深めるとともに、各種の文献を読むことを通じて日本語力を高める。また、文献の一部として歴史小説を読み、さまざまな日本語（宗教用語、敬語など）に触れ、その時代の空気を感じ、当時の人々の心境を想像することで文章理解力を高め、物語の背景や時代背景を把握する力を養成する。
授業形態	配布された教材（作品）を読んだうえで、タスクシートの質問に答え、それをクラスに持ってくる。クラス活動では、3～4人のグループに分かれて、各自が書いたタスクシートの答えをもとに、時代背景や作家について意見を交換し、グループで話し合う。
履修に関わる注意事項	1. 必ず予習をしてくること。 2. 宿題は必ず提出期限までに提出すること。 3. できるだけ欠席や遅刻をしないようにすること（やむを得ない場合の欠席や遅刻は必ず連絡すること）。
授業計画（予定）	1. オリエンテーション：「歴史を学ぶ」とは? 2. 歴史：奈良時代まで 3. 歴史：平安時代 4. 歴史小説①「この世をば」 5. 歴史：鎌倉時代、室町時代、蒙古襲来 6. 発表１ 7. 歴史小説②「親鸞」 8. 歴史：安土桃山時代 9. 歴史小説③「利休啾々」 10. 発表２ 11. 歴史小説④「胡蝶の夢」 12. 発表３ 13. 歴史：江戸時代 14. 歴史小説⑤「開国―愚直の宰相」 15. 発表４
テキスト	毎回プリントを配布する。
成績評価	1. 平常点 20%（授業態度、教室活動に貢献できるかなど） 2. 発表 10% 3. 課題（タスクシート）70%
その他 （自由記述欄）	発表のガイドラインは最初の授業時に配布する。

JLCC 授業シラバス
記入書式

講義コード	JL205
講義科目名	ジグソー法で学ぶ身近な日本学
開講年度	2025-2026
開講学期	前期
曜日時限	水曜日２時間目（10:30～12:00）
必修選択	選択必修
単位数	２単位
担当教員	小山　悟
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	**授業概要**：「国民食」や「商品のネーミング」など、身近なテーマを題材に現代日本の姿を総合的に捉え、探求していきます。 **目標**：前期の「歴史」の授業（JC104）では「問う力」の育成に重点を置きましたが、この授業では、合理的な説明を求めて多面的かつ論理的に分析する力（合理的・論理的思考力）と、新たな考えを生み出す力（創造的思考力）の育成に重点を置きます。
授業形態	グループワーク（ジグゾー活動など）を中心に進めます
履修に関わる注意事項	歴史の授業ほど語彙は難しくないと思います。
授業計画	1.　ガイダンス、ジグソー法とは何かⅠ 2.　ジグソー法とは何かⅡ 3.　テーマ１「日本の国民食」（第１回ジグソー学習） 4.　テーマ１「日本の国民食」（第２回ジグソー学習） 5.　テーマ１「日本の国民食」（第３回ジグソー学習） 6.　テーマ１「日本の国民食」（探求活動） 7.　テーマ２「日本の商品」（第１回ジグソー学習） 8.　テーマ２「日本の商品」（第２回ジグソー学習） 9.　テーマ２「日本の商品」（第３回ジグソー学習） 10. テーマ２「日本の商品」（探求活動） 11. テーマ３「日本の大学生」（第１回ジグソー学習） 12. テーマ３「日本の大学生」（第２回ジグソー学習） 13. テーマ３「日本の大学生」（第３回ジグソー学習） 14. テーマ３「日本の大学生」（探求活動） 15. まとめ 注．テーマは変更になる可能性があります。
テキスト	ハンドアウトを配布します
参考書	特にありません
成績評価	①授業参加・教室課題 40% ②小レポート 40%（各テーマの最後に行うまとめ） ③事前学習 20% 注．変更する可能性があります

学習相談	金曜日
その他 （自由記述欄）	**重要**：授業の性質上、受講者が 6 人以下の場合には開講しま（でき）せん。 今後の授業改善と教育実践研究のため、授業内で行われるディスカッションを録音したり、提出物や教室課題、アンケートの結果を研究データとして活用したりすることがあります。前者については「話し合いがどの程度活発に行われたか」を分析するために、後者については「授業内容に対する理解がどの程度深まったのか」を分析するために使用します。本授業を受講する人は、そのことを承知の上、ご参加ください。なお、みなさんに黙って録音することはありません。また、この授業で収集したデータを用いて学会等で研究発表する場合には、来場者に録音した音声を聞かせたり、手書きされたものを見せたりすることはありません。個人情報の保護に最大限配慮することをお約束します。 なお、一度は許可したものの、「やはり自分のデータを研究に利用されたくない」と思った場合には、小山が皆さんの成績を事務局に提出した日の翌日（3 月 1 日）以降、新学期が始まる日（同 4 月 1 日）までにその旨申し出てください。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL206
講義科目名	映画・ドラマに見られる日本文化と日本語
開講年度	2025-2026
開講学期	前期（春夏学期）
曜日時限	木曜 5 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	大神智春
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	映画やドラマの中の世界は現実と虚構・創作が混じり合っている。描き出されている現実はその時代の言語や社会・価値観が再現されたものである。また、虚構・創作といってもその虚構・創作が作られる背景にはその国の文化や価値観、時代が影響していることが多い。 この授業では個々の映画やドラマではどのような表現が特徴的に用いられているか確認するとともに、どのような文化や価値観、社会観が背景としてあるのかを考察する。そして授業で扱う作品全体を通してとらえることができる日本語や日本文化・社会について自分なりの考えを深める。視聴対象とする作品は戦後～現代の社会を扱ったもので、ある程度日本でヒットしたものとする。
授業形態	2025 年度前期は５本の映画を視聴する。 1. ５本の映画を前半後半に分けて鑑賞。事前に見る映画についてのレクチャーを行う。 2. クラスで同じ映画を一緒に視聴し、お互い感じ方が共通する部分、各自感じ方が異なる部分などを知る。 3. 映画視聴後、あらすじと表現をクラスで確認する。学生は宿題として感想シートを提出する。提出されたシートの内容をもとに、疑問点や考え方の違いについてクラスで話し合う。 4. ４本の映画の発表者を決め、映画を見た次の授業で、①印象に残った表現、②映画から見ることのできる日本文化や日本社会の２点をまとめて発表しクラスで討論する。その後、その映画のまとめシートを提出する。
履修に関わる注意事項	1. 担当映画についての発表は必須とする。 2. 欠席して映画が見られなかった場合は、自分でその映画を見て、次の授業に参加すること。 3. 提出物は、必ず提出すること。
授業計画	第１回　オリエンテーション 今期見る映画の紹介。担当映画を決める。 第２回　映画①「ALWAYS　３丁目の夕日」前半 第３回　映画①「ALWAYS　３丁目の夕日」後半 第４回　①グループ発表、クラス討論 第５回　映画②「風の谷のナウシカ」前半 第６回　映画②「風の谷のナウシカ」後半 第７回　②グループ発表、クラス討論

	第８回　映画③「フラ・ガール」前半 第９回　映画③「フラ・ガール」後半 第 10 回　③グループ発表、クラス討論 第 11 回　映画④「おくりびと」前半 第 12 回　映画④「おくりびと」後半 第 13 回　④グループ発表、クラス討論 第 14 回　映画⑤　「マイスモールランド」前半 第 15 回　映画⑤　「マイスモールランド」後半、最終レポート準備 ＊視聴映画は変更になることもあります。
テキスト	プリント配布
成績評価	最終レポート（「マイ・スモールランド」について」　30％　　各映画の感想シート・ミニレポート 30％ 発表 20％　　授業態度 20％
学習相談	グループ発表の前の授業後にアドバイスをする。その他の相談はリクエストに応じて対応する。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC201
講義科目名	日本の宗教文化
開講年度	
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	金曜日３時限
必修選択	
単位数	
担当教員	木下博子
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	本講義は、地域研究の視点から日本における宗教文化の広がりについて基礎的知識を習得することを目的とする。現代日本社会における宗教文化の形成過程に着目し、「カルチャー」としての宗教実践の実態を、具体的事例を用いて概観する。講義は学生主導のディスカッションを基盤とし、提示されたトピックについて自らの考えを積極的に発言することが求められる。また、履修者自身が所属するコミュニティや社会との比較を通じて、日本社会のみならず、自らの社会についても深く理解するための視座を獲得することを目指す。
授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション
履修に関わる注意事項	
授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：　妖怪① 第 3 回：　妖怪② 第 4 回：　妖怪③ 第 5 回：個人プレゼンテーション 第 6 回：日本社会とスピリチュアリティー、ヨーガ① 第 7 回：日本社会とスピリチュアリティー、ヨーガ② 第 8 回：日本社会とスピリチュアリティー、ヨーガ③ 第 9 回：個人プレゼンテーション 第 10 回：お参りと巡礼① 第 11 回：お参りと巡礼② 第 12 回：民間信仰① 第 13 回：民間信仰②

	第 14 回：最終プレゼンテーション 第 15 回：まとめ
テキスト	なし。予習や宿題の際に必要な文献を適宜紹介、配布します。
参考書	なし。
成績評価	個人プレゼンテーション 20%、最終プレゼンテーション 20%、最終課題のレポート 40%、宿題 20%
学習相談	短時間の場合、授業の前後に対応します。文献の紹介や、研究テーマの相談等、一定の長さの時間が必要な場合は、メールや口頭でアポイントメントをとってください。
その他 （自由記述欄）	・講義中の積極的な発言を奨励します。 ・宿題は締め切りを守りましょう。 ・授業を欠席する場合は、必ず担当教員に事前に連絡しましょう。 ・講義中スマートフォンの利用は禁止します。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC202
講義科目名	和菓子と日本人 B Wagashi in Japanese Life B
開講年度	2025-2026
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	木曜日 3 時限 13:00（日本時間）
必修選択	選択必修
単位数	２単位
担当教員	脇坂 真彩子（わきさか　まさこ）wakisaka.masako.898@m.kyushu-u.ac.jp
使用言語	日本語
教室	5701 教室
授業概要・目標	この授業では、長い歴史の中で発展してきた「和菓子」という日本文化が、現代の日本社会で人々にどのように捉えられ、親しまれているかをさまざまな角度から学びます。日本各地の風土・文化と和菓子の関連や、和菓子と茶道との関わり、現代の和菓子業界の新たな挑戦の事例について学ぶことを通して、「和菓子」という日本文化をより深く理解することを目指します。
授業形態	1. 講義・ディスカッション　2. 個人発表　3. グループ発表 4. 実習
履修に関わる注意事項	特になし。
授業計画	第 1 回目　オリエンテーション 第 2 回目　ご当地の和菓子 第 3 回目　和菓子と茶道① 第 4 回目　和菓子と茶道② 第 5 回目　和菓子と茶道③ 第 6 回目　和菓子と茶道④ 第 7 回目　和菓子の贈答 第 8 回目　和菓子の地域性まとめ 第 9 回目　和菓子のこれから① 第 10 回目 和菓子のこれから② 第 11 回目 和菓子のこれから③ 第 12-13 回目 和菓子実習 第 14 回目 発表 第 15 回目 発表、総まとめ

	予定は、受講生と相談の上、変更することがあります。
テキスト	なし。プリントを配布する。
参考書	1. 青木直己(2000)『和菓子の今昔』淡交社. 2. 中山圭子(1994)『和菓子ものがたり』新人物往来社. 3. 西日本新聞社社会部編著（2005）『九州和菓子紀行』書肆侃侃房. 4. 日本フードライセンス国際協会『和菓子コーディネーター検定教本』書肆侃侃房. 5. 北岡正三郎（2011）『物語　食の文化：美味い話、味な知識』中公新書. 6. 早川幸男（2004）『改訂 2 版　菓子入門』日本食糧新聞社. 7. 藪光生（2015）『和菓子』角川ソフィア文庫. 8. 高家啓太（2020）『京菓子のしおり 塩芳軒 季節のいろどり』淡交社 9. 岡倉覚三（1929）『茶の本』岩波書店. 10. ユイミコ（2018）『和菓子こよみ』文化出版局.
成績評価	クラス活動 20% 宿題 40% 課題① 地域の和菓子発表 10% 課題②「和菓子のこれから」発表 ＋ レポート 30%
学習相談	授業の前後またはリクエストに応じて対応します。
その他 （自由記述欄）	・授業を欠席する場合は、必ず担当教員にメールで連絡してください。 ・課題は期限までに提出してください。 ・食物アレルギーがある人は必ず知らせてください。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC204
講義科目名	九州学
開講年度	2025-2026
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	木曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	楠木　理香
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	九州大学が位置する九州地方について、様々な分野から詳しく学ぶ。 戦国時代にキリスト教や鉄砲が伝来し、江戸時代には外国との交流で重要な役割を果たしてきた九州地方。その九州地方について知識を広げ、興味・関心を深めることで愛着を持ち、それが今後の日本語学習や日本での生活への積極的な姿勢へとつながることを目標とする。
授業形態	１．講義　２．ディスカッション　３．発表
履修に関わる注意事項	
授業計画	1.　コースガイダンス、イントロダクション 2.　九州地方の地理・自然・歴史・文化 3.　九州地方の政治・社会・産業・経済 4.　九州地方の人々の生活 5.　沖縄県 6.　福岡県 7.　熊本県 8.　佐賀県 9.　長崎県 10. 鹿児島県 11. 宮崎県 12. 大分県 13. 発表（１） 14. 発表（２） 15. まとめ
テキスト	なし
成績評価	10%　クラス活動 30%　ふりかえりシート 40%　課題 20%　発表
学習相談	リクエストに応じて随時対応します。メールで連絡してください。 kusunoki.rika.336@m.kyushu-u.ac.jp

JLCC26 期(JC205)　「4 コマ漫画にみる日本 B」　予定全１５回　週１回

2026 年 4 月～7 月　火曜日　3 限　　１３：００～１４：３０　教室 5701　**担当**（たんとう）　：**和田玉己**（わだたまき）

講師室：tel 092-802-4381 課題など

教材：　４コマ漫画とその内容に関する文章。（主に 4 コマ漫画、記事、ビデオなど）

目標：　新聞連載の４コマ漫画などを見て、その内容について話し合い、４コマ漫画を通して日本の現代社会や自国との笑い（ユーモア）の違い、ステレオタイプなどを考える。

概要：　ワークシートに沿って４コマ漫画の吹き出しのセリフを考える。セリフの中の日本語表現にも注目し、感想や疑問点を出し合う。また関連した記事も読み理解を深める。自国の４コマ漫画を紹介発表し、それ基づいてレポートを作成する。

評価：　ワークシート(20)、発表・レポート(10＋50)、授業参加態度(15＋5)％　に基づいて評価する

		内　　容	宿題提出
1		・オリエンテーション ・短歌と漫画　今日マチ子 （災害とマンガ）	
2		新聞連載（れんさい）4 コマ漫画の始まり	課題１
3		サラリーマン川柳（せんりゅう）紹介　四コマ漫画より ・OL 川柳紹介	課題２
4		・　サザエさん GW ・　**川柳発表（発展俳句）**ステレオタイプ１	課題３(川柳を読んでくる気に入った作品や質問)
5		・　スーちゃん：働く女性　ステレオタイプ２	課題４（ステレオタイプ）
6		・　シブすぎ技術に男泣き：中小企業 ・　異文化コミュニケーション サト子とナダ　バクちゃん　星野ルネ	課題５（ステレオタイプ２
7		・続き	課題６
8		きょうの猫村さん：動物癒（いや）し系	ネットで調べる →癒し系漫画感想　課題７
9		ロダンのココロ：動物癒し系	課題８
10		（猫景気！ネコブーム光と影、対策発表 動物が主人公の漫画感想　補足漫画と記事） 小噺（こばなし）について	課題９ペット光と影
11		・　鳥獣戯画（ちょうじゅうぎが）紹介動物キャラクター、アニメの始まり？） 国の小噺発表　　・落語の始まり紹介	課題１０・１１読んでくる＆国の小噺（こばなし）の紹介

12		落語「初天神」　読み合わせ練習　など 読み合せ発表、（アニメ「頭山その他の落語紹介」	課題１２
13		博多祇園山笠　長谷川ホウセイ「博多っ子純情」 博多弁の漫画紹介 発表１「私が選んだ四コマ漫画」PPT 提出	
14		発表２「私が選んだ四コマ漫画」PPT 提出 （感想、意見、質問シートコメントシート記入） その他の漫画紹介	
15		発表３「私が選んだ四コマ漫画」PPT 提出 その他の漫画紹介	**レポート締め切り　月　日** ２３：５９

担当　：和田玉己　　**講師室：tel　092-802-4381**

☆　**クラス活動**　　**予定は変更することがある。**

１　ウォーミングアップ：　４コマ漫画で学ぶ日本、日本人の知らない日本語、

サラリーマン川柳　や（エスニック）ジョーク

２　４コマ漫画やコミック：

・「北欧女子オーサの日本探検」　日本在住スウェーデン漫画家　オーサ・イエクストロム朝日新聞掲載中

・「シブすぎ技術に男泣き」見ル野　栄司　　・「地球防衛家の人々」しりあがり寿

・「スーちゃん」益田ミリ

（**「ちびまるこちゃん」**さくら　ももこ　　**・「サザエさん」**　福岡ゆかりの漫画家　長谷川　町子　）

・　**「きょうの猫村さん」**ほしよりこ　・『ロダンのこころ』内田かずひろ　福岡

（「１００日後に死ぬワニ」きくちゆうき

https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1912/29/news006.html）

３　発展：関連した文コラム章、活動

・「サザエさんを探して」コラム・「地球防衛家のヒトビト朝日新聞掲載中　４コマ漫画

「エスニックジョーク」「笑いの異文化-コミュニケーションの観点-」など

・現在放送中のアニメ「ちびまるこちゃん」「サザエさん」落語が元になっているアニメなど

（関連ニュース、番組ビデオ視聴　　アニメも見て、音声も含めニュアンスを感じる。）

☆　**期末の発表、レポートについて　　レポート締め切り　　４コマ漫画に見る　－　笑いの異文化　－**

「私が選んだ４コマ漫画」

① 発表　一人 10 から 15 分（**10-15 分発表後**　質問、話し合い 5-10 分）

・自分の国の 4 コマ漫画を紹介する。（２回目の受講者：外国人漫画家があなたの国についてのステレオタイプや国民性を表したもの。）

・ なぜこの４コマ漫画を選んだか。おもしろいと思う点などを説明する。

（その国特有の事情や、ユーモアなどについて説明すること。）

・ 発表のとき 4 コマ漫画のコピーを持ってくること。作者、出典を明記すること。

（作者のプロフィールも簡単に紹介する。）

※参加者は発表者に質問などし、コメントを用紙に必ず書く。

② レポート・A4 サイズの用紙 1 枚に　漫画のコピーを貼る。

A4サイズ１枚に発表と同じ内容　1200字程度

※　発表時のコメントを参考にし、参加者の反応とそれに対する自分の考えを付け加える

※．<u>注意</u>１）出席率が80%以下になると除籍（じょせき）になることがあります。

２）遅刻・早退３回は欠席１回と同じです。15分遅れると遅刻になります。

３）クラスを休むときは必ず前日（ぜんじつ）までに連絡してください。